

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム宝生苑

目標達成計画

作成日: 令和 2年 4月 18日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		施設全体での理念があり、それに基づいたユニット目標ならびに行動指針を作っているが、事業所としての理念はない。また、ユニットそれぞれの目標の達成についての振り返りも年度末にのみ行っており、目標達成のプロセスが不透明である。	事業所理念を作成し、理念に基づいたユニット目標に繋げる。	①事業所の理念を作成する。 ②ユニット目標の評価を年間2～4回行うことで目標達成の進捗を確認する。	2ヶ月
2		入居者の思いや意向を入居当初は把握しているが、それ以降の更新が滞りがちであるため、長く暮らしている入居者の思いに寄り添えているか、不明確である。	グループホームで暮らす入居者の思いや意向をより深く知ることで、その人に寄り添った関わりが出来る。	ユニットスタッフが気付いたり感じ取った入居者の想いを速やかに書き込み、閲覧できるようなツールの検討、導入する。	3ヶ月
3		運営推進会議への家族の参加が少なく、決まった人の参加になってしまっており、運営に対しての意向の把握が十分できていない可能性がある。	グループホーム入居者家族とのコミュニケーションを深め、入居者や家族が施設にどうして欲しいのか、を知ることが出来る。	運営推進会議には出席しないが面会や行事に参加して下さるご家族が多いため、そういった家族とのコミュニケーションを密にし、出来るだけ多くの参加を募る。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。